豊田工業高等専門学校	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	社会科学特論Ⅰ

科目基礎情報

科目番号	05108	科目区分	一般 / 選択
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2
開設学科	情報工学科	対象学年	5
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	テキストは特に指定しない。／テーマに応じて資料を配布する。		
担当教員	加藤 健		

到達目標

(ア)歴史的バックグラウンドと経済思想の展開について理解することができる。
(イ)経済学が扱ってきたテーマの多様性について理解することができる。
(ウ)経済学者が取り上げた様々な問題を意味あるものとして捉えなおすことができる。
(エ)経済思想の歴史を学ぶことを通して、現代の「経済学」の前提となる見方を問い返すことができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目(ア)	現代社会における経済問題を、その思想的背景を踏まえて考察することができる。	歴史的バックグラウンドと経済思想の展開について理解することができる。	歴史的バックグラウンドと経済思想の展開について理解することができない。
評価項目(イ)	経済学が扱ってきたテーマの多様性について理解し、現代社会における経済問題について考察することができる。	経済学が扱ってきたテーマの多様性について理解することができる。	経済学が扱ってきたテーマの多様性について理解することができない。
評価項目(ウ)	経済学者が取り上げた様々な問題を意味あるものとして捉えなおし、現代社会における経済問題について考察することができる。	経済学者が取り上げた様々な問題を意味あるものとして捉えなおすことができる。	経済学者が取り上げた様々な問題を意味あるものとして捉えなおすことができない。

学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 C2 世界の文化・歴史を理解し，人間に対する配慮を怠らない.
JABEE a 地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養
JABEE b 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者が社会に対して負っている責任
本校教育目標 ① ものづくり能力

教育方法等

概要	人間が行う経済活動の在り方は時代や状況によって様々に変化するが、人間の諸行為を認識する学問としての経済学もまた現実を反映することによって変化していく。本講義では、経済学者が実際に取り組んだテーマや問題関心などを振り返ることによって、社会を認識する経済思想の多様な側面を考察していく。とりわけ、経済学における「人間の経済活動の在り方」や「社会の在り方」に関する議論を中心に取り上げる。
授業の進め方・方法	
注意点	講義中に取り上げた論点について、講義時間以外にも原典資料や関連文献等を活用し、積極的に考察を深めることが望ましい。

選択必修の種別・旧カリ科目名

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	イントロダクション：経済思想と経済学	経済思想の多様な側面を理解できる。
		2週	市民社会から文明社会へ（1）：ホッブズ、ロック	ホッブズ、ロックの社会契約論の概要について理解できる。
		3週	市民社会から文明社会へ（2）：ルソー、モンテスキュー、ヒューム	ルソー、モンテスキュー、ヒュームの思想の概要について理解できる。
		4週	再生産秩序と自由―重農主義：ケネー	ケネーの思想の概要について理解できる。
		5週	自然的自由の経済思想（1）：スミス『道徳感情論』	スミス『道徳感情論』の概要について理解できる。
		6週	自然的自由の経済思想（2）：スミス『国富論』	スミス『国富論』の概要について理解できる。
		7週	市場社会における貧困と過剰：ゴドウィン、マルサス	ゴドウィン、マルサスの比較検討し、その思想の概要について理解できる。
		8週	市場経済の構造と発展モデル：リカード	リカードの思想の概要について理解できる。
	2ndQ	9週	功利主義的統治と経済的自由主義（1）：ベンサム	ベンサムの思想の概要について理解できる。
		10週	功利主義的統治と経済的自由主義（2）：J.S.ミル	J.S.ミルの思想の概要について理解できる。
		11週	限界革命：ジェヴォンズ、メンガー、ワルラス	限界革命の概要について理解できる。
		12週	市場と組織の経済学：マーシャル	マーシャルの思想の概要について理解できる。
		13週	ケンブリッジの経済思想：ケインズ	ケインズの思想の概要について理解できる。
		14週	制度進化の経済思想：ヴェブレン、ミッチェル、コモンズ	制度学派の思想の概要について理解できる。
		15週	理解度の確認	現代社会の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について人文・社会科学の観点から展望できる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

基礎的能力	人文・社会科学	社会	公民的分野	自己が主体的に参画していく社会について、基本的人権や民主主義などの基本原理を理解し、基礎的な政治・法・経済のしくみを説明できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	書籍、インターネット、アンケート等により必要な情報を適切に収集することができる。	3	
				収集した情報の取捨選択・整理・分類などにより、活用すべき情報を選択できる。	3	
				収集した情報源や引用元などの信頼性・正確性に配慮する必要があることを知っている。	3	
				情報発信にあたっては、発信する内容及びその影響範囲について自己責任が発生することを知っている。	3	
				複数の情報を整理・構造化できる。	3	
				課題の解決は直感や常識にとらわれず、論理的な手順で考えなければならないことを知っている。	3	
				どのような過程で結論を導いたか思考の過程を他者に説明できる。	3	
				適切な範囲やレベルで解決策を提案できる。	3	
				事実をもとに論理や考察を展開できる。	3	
				結論への過程の論理性を言葉、文章、図表などを用いて表現できる。	3	

評価割合

	定期試験	課題	合計
総合評価割合	80	20	100
基礎的能力	80	20	100